

「人権教育プログラム集」活用事例 ～倉吉市立高城小学校「豊かな人権文化を築く学校づくり事業(1年目)」～

【保護者研修】

「豊かにつながる人間関係づくり～子どもがインターネット端末と上手に関わるために～」(「人権教育プログラム集」社会教育編プログラム)

<研修展開概要>

- ①アイスブレイク
- ②インターネットのメリット、デメリットについて考え、グループで紹介し合う。(KJ法)
- ③子どもがインターネット端末に上手に関わるための「問」をグループで考える。
- ④グループで考えた「問」を他のグループに考えてもらう。(みつばちワクワクカフェ)
- ⑤ギャラリーウォークで他のグループの「問」や回答を見てまわる。その際、「いいね」「なるほど」という回答にシールを貼る。



【学びの交流】

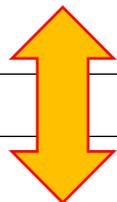
児童も保護者もともにインターネットの関わり方について学び、家庭でも話し合ってもらいました。

【児童の学習1】〔学級活動、3・4年生合同授業〕

「輝く今を、そして未来を生きるために～みんなで考えようインターネットとの関わり方～」(「人権教育プログラム集」学校教育編プログラム)

<学習展開概要>

- ※事前に児童のインターネット使用に関するアンケートを実施
- ①めあて(インターネット端末を使うときの自分のめあてを考えよう)を確認する。
 - ②アンケートの結果から分かったことや思ったことを話し合う。(KJ法、右写真)他グループを見てまわり全体でシェアする。
 - ③ネット依存に関するビデオを視聴し、依存で起こることを共有する。
 - ④インターネットと上手に関わるための各自のめあてを考えさせ、ワークシートに書かせ、グループ、全体でシェアする。



【児童の学習2】〔学級活動、3・4年生合同授業〕

めあて:「インターネットのこわさを知り、上手につながるためのルールやマナーについて考えよう」

<学習展開概要>

- ①資料(小4児童よし子さんがSNSを通じてやりとりするようになった高校生Aさんと親しくなり、共に好きなアイドルグループの限定グッズをくれるというので、駅で会わないかと誘われるという内容)を読み、気になることをグループで話し、模造紙にまとめる。その後、他のグループを見てまわり全体でシェアする。
- ②よし子さんはAさんと「会う」か「会わないか」理由とともに考えたことを全体でシェアし、保護者研修の模造紙(右写真)を利用して、インターネットのメリット・デメリット(特にSNSの危険性)を確認し、情報モラルについて学習する。
- ③保護者研修の模造紙を1つ提示し、「問:知らない人とつながらないようにするには?」の「回答」を紹介しながら、本時の学習をおさらいする。
- ④学習で感じたこと、今から気をつけたいことを考え、全体でシェアする。(宿題:学んだことを保護者にも話すこと)

さらに学習を深める

保護者研修の模造紙(インターネットのメリット・デメリット)が学習の2日前から廊下に貼り出され、児童も気づいて見ていました。

